

富山市総合計画審議会第2回協働部会 概要

場所：富山市役所議会棟8階 第3委員会室

日時：平成23年11月14日（月）

13:30～15:00

1 開会

2 部会長あいさつ

・本日は、審議会・分野別部会等が出された意見に基づき、事務局で作成した対応（案）及び、答申（案）について意見を伺い、総合計画後期基本計画の策定に向け、議論を尽くしていきたい。

3 議事

- ・富山市総合計画後期基本計画（案）に対する審議会・分野別部会等での主なご意見と対応（案）について
- ・富山市総合計画後期基本計画（案）の答申（案）について

<概要>

（部会長） まず、富山市総合計画後期基本計画（案）に対する審議会・分野別部会等での主な意見と対応（案）について議論していきたい。

（委員） 災害時要援護者（特に高齢者、障害者の施設入所者）への対応として、福祉避難所について検討してはどうか。

（委員） グリーンツーリズム（果樹園オーナー制度等）の観光策を利用した他都市との連携などを考えてはどうか。

（委員） 潤い部会では数値指標の整合性について議論があったが、数値だけではなく、施設全体のマネジメントの見直しなど限られた資源の中で、事業の実現可能性を考えることが重要である。

（部会長） 公民館活動について、人口当たりの施設数は全国的に見て多いが、利用率は低いという実態がある。

また、NPO法人の数よりもNPO法人がどのような取り組みを行っているのかを紹介することで、まちが活性化されるのではないかと。

- (委員) 204頁の施策の方向①「一人ひとりの個性と創造性を尊重する社会づくり」への対応案の中で、「グローバル」という表記があるが、富山で暮らしながら、新しい時代に対応する人材を育成することが大事である。
- (部会長) 地域のNPO法人と連携して地域参加を図りながら、行政のスリム化を図ることが重要である。
- (委員) 新しい公共として、富山市では公募提案型協働事業を行っており、まちづくりの柱の一つとしてぜひ推進してほしい。
- (部会長) 次に、富山市総合計画後期基本計画(案)の答申(案)について議論していきたい。
- (委員) 職員の意識改革は重要なことであるので、もう少し踏み込んでほしい。
また、「コミュニティを高める」という言い方は、用語の使い方としてどうか。
- (委員) 商業の振興について、中心部では業種の偏りが指摘されているが、対応がされていない。「消費者ニーズに対応した業種・業態構成」について記載すべきではないか。
- (委員) 答申案についてはこれでいいと思うが、平成22年度国勢調査では、人口が微増となったが、次の5年間で勝負になるので、コンパクトなまちづくりに力を入れていかなければならない。
- (部会長) 本日の議論で出た意見への対応及び答申案についての対応は一任していただきたい。

4 閉会

(以上)